

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	公民連携推進事業			事業コード	2965
所属コード	124000	課等名	市長公室行政経営課	係名	
課長名	佐藤 聡	担当者名	小向 克典	内線番号	3842
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8
	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード	2
	基本事業	行政改革の推進	コード	2
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 6 目 自治体経営推進事務 (013-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	22 年度	
根拠法令等	盛岡市自治体経営の指針及び実施計画			

(2) 事務事業の概要

盛岡市自治体経営の指針及び実施計画（以下「自治体経営指針」という。）に基づき、民間委託の推進、指定管理者制度や P F I 等の活用により、多様な主体が協働するまちづくりを推進する。具体的には以下のとおり。

- 自治体経営指針に掲げる民間委託可能業務の進捗管理
- 指定管理者制度の円滑な運用のための指導・助言
- P F I の推進に向けた指導・助言

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

まちづくり研究所の研究報告によると、今後、生産年齢人口の減少と高齢者の増加が加速すると推計されており、それに伴う税収の減少、社会保障関連サービスの需要増の同時進行をもたらすと考えられる。人口・税収が長期にわたり漸減すると見込まれる新たな環境のもとでは、増加する市民ニーズに対して行政が公共サービスを拡大することによって解決するこれまでの手法は、有効に機能しなくなりつつあり、市民、町内会・自治会、N P O、企業と行政がお互いの特性と能力を尊重し発揮しながら相互に連携することが必要であることから、自治体経営指針において「協働のまちづくりの推進」を掲げ、市民等多様な主体による魅力ある公共空間を形成するため、協働の環境整備を行うとともに、役割分担等公民連携のあり方について検討し仕組みをつくることとした。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

公民連携の一形態である地域協働の取組を平成 22 年度から本格的に開始し、平成 23 年度にモデル地区において地域づくり計画が策定された。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

- ・ 民間委託可能業務
- ・ 公共施設の整備等 (新築・改築, 維持管理・運営等) に関する事業 (事前評価対象事業)

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 委託可能業務数	件	—	8	8	8	8
B 公共施設の整備等事業数	件	—	10	10	16	10

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・ 自治体経営指針工程表に基づき, 民間委託等の進行管理を行った。
- ・ 公民連携のあり方について, 先行自治体の取組や, 当市における地域協働に向けた仕組みの構築・NPOとの協働を推進する事業の展開・ワークショップの開催などの現状を踏まえ, 検討を行った。

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A ヒアリング回数(民間委託)	回	—	2	2	2	2
B 所管課打合せ(PFI)	回	—	3	5	2	5

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

効果的な役割分担と協働により事業実施される。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 民間委託移行事業数 (自治体経営指針取組期間における推計)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	件	—	2	4	4	8
B PFI導入事業数 (実施方針策定済事業数・累計)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	件	—	1	2	1	2

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0

	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	—	300	300	300
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	—	1,200	1,200	1,200
計	トータルコスト A+B	千円	0	1,200	1,200	1,200
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

公民連携の推進は、基本事業が意図する「行政運営の継続的な改革改善」の具体的手法である。

② 市の関与の妥当性

市が直接実施する事務事業について、民間委託可能性の可否など全庁的な調整を行う事務であり、市が主体的に行うべきものである。

③ 対象の妥当性

民間への業務委託は、協働事業の対象として、主要なものに位置付けられている。

④ 廃止・休止の影響

全庁的な取組状況の総合調整を行わない場合、各担当課の取組状況に差異が生じ、基本事業の意図する「行政運営の継続的な改革改善」が損なわれる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

委託等可能業務を新たに抽出することにより、成果の向上が見込まれる。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者はいない。

(4) 効率性評価

経費、人員ともに最小限の経費で取り組んでいる。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

行財政構造改革の取組の中で、公共部門の民間開放を積極的に進めてきたが、盛岡市を取り巻く財政的・社会的環境の変化を踏まえ、自治体経営の観点から公民連携のあり方を再整理し、市としての方向性を明確にするため、基本方針等の策定を行う。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

平成 16 年度以降、行財政構造改革に集中的に取り組む中で、保育所の民営化や公の施設への指定管理業務の導入等を行い、公共部門の民間開放を積極的に進めてきたが、委託等の目的がコスト削減中心になっているのではないかと（委託施設に勤務する職員の労働条件の悪化を中心に指摘）、民間委託等した業務の適切な監視が不十分ではないか、などの指摘がある。これに対応するため、委託後のモニタリング手法について先進自治体の取組状況の調査を行う。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

公民連携のあり方についての検討及び方針策定については、盛岡市自治体経営の指針及び実施計画において、協働のまちづくりの推進の取組項目として位置づけていることから、他都市の状況等を参考に、新たな仕組みづくりを検討したところである。

今後は、公共空間の再構築を念頭に、これまでの取組を検証し、公民それぞれが担うべき分野について整理し、方針として取りまとめたい。